

結果の概要

I 世帯数と世帯人員数の状況

1 世帯構造及び世帯類型の状況

平成25年6月6日現在における全国の世帯総数は5011万2千世帯となっている。

世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1489万9千世帯(全世帯の29.7%)で最も多く、次いで「単独世帯」が1328万5千世帯(同26.5%)、「夫婦のみの世帯」が1164万4千世帯(同23.2%)となっている。

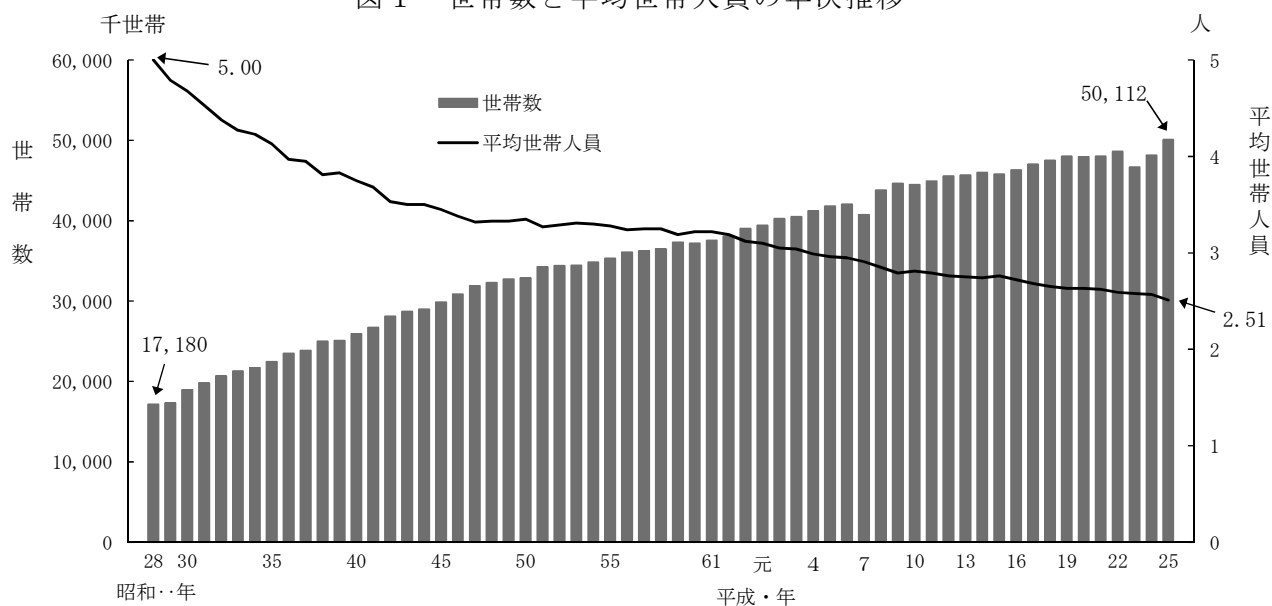
世帯類型別にみると、「高齢者世帯」は1161万4千世帯(全世帯の23.2%)、「母子世帯」は82万1千世帯(同1.6%)となっている。(表1、図1)

表1 世帯構造別、世帯類型別にみた世帯数、構成割合及び平均世帯人員の年次推移

年次	総数	世帯構造						世帯類型				平均世帯人員
		単独世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯	その他の世帯	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯	その他の世帯	
推計数 (単位：千世帯)												(人)
昭和61年	37 544	6 826	5 401	15 525	1 908	5 757	2 127	2 362	600	115	34 468	3.22
平成元年	39 417	7 866	6 322	15 478	1 985	5 599	2 166	3 057	554	100	35 707	3.10
4	41 210	8 974	7 071	15 247	1 998	5 390	2 529	3 688	480	86	36 957	2.99
7	40 770	9 213	7 488	14 398	2 112	5 082	2 478	4 390	483	84	35 812	2.91
10	44 496	10 627	8 781	14 951	2 364	5 125	2 648	5 614	502	78	38 302	2.81
13	45 664	11 017	9 403	14 872	2 618	4 844	2 909	6 654	587	80	38 343	2.75
16	46 323	10 817	10 161	15 125	2 774	4 512	2 934	7 874	627	90	37 732	2.72
19	48 023	11 983	10 636	15 015	3 006	4 045	3 337	9 009	717	100	38 197	2.63
22	48 638	12 386	10 994	14 922	3 180	3 835	3 320	10 207	708	77	37 646	2.59
25	50 112	13 285	11 644	14 899	3 621	3 329	3 334	11 614	821	91	37 586	2.51
構成割合 (単位：%)												
昭和61年	100.0	18.2	14.4	41.4	5.1	15.3	5.7	6.3	1.6	0.3	91.8	・
平成元年	100.0	20.0	16.0	39.3	5.0	14.2	5.5	7.8	1.4	0.3	90.6	・
4	100.0	21.8	17.2	37.0	4.8	13.1	6.1	8.9	1.2	0.2	89.7	・
7	100.0	22.6	18.4	35.3	5.2	12.5	6.1	10.8	1.2	0.2	87.8	・
10	100.0	23.9	19.7	33.6	5.3	11.5	6.0	12.6	1.1	0.2	86.1	・
13	100.0	24.1	20.6	32.6	5.7	10.6	6.4	14.6	1.3	0.2	84.0	・
16	100.0	23.4	21.9	32.7	6.0	9.7	6.3	17.0	1.4	0.2	81.5	・
19	100.0	25.0	22.1	31.3	6.3	8.4	6.9	18.8	1.5	0.2	79.5	・
22	100.0	25.5	22.6	30.7	6.5	7.9	6.8	21.0	1.5	0.2	77.4	・
25	100.0	26.5	23.2	29.7	7.2	6.6	6.7	23.2	1.6	0.2	75.0	・

注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

図1 世帯数と平均世帯人員の年次推移



注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 平成23年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除いたものである。
 3) 平成24年の数値は、福島県を除いたものである。

2 65歳以上の者のいる世帯の状況

65歳以上の者のいる世帯は2242万世帯（全世帯の44.7%）となっている。

世帯構造別にみると、「夫婦のみの世帯」が697万4千世帯（65歳以上の者のいる世帯の31.1%）で最も多く、次いで「単独世帯」が573万世帯（同25.6%）、「親と未婚の子のみの世帯」が444万2千世帯（同19.8%）となっている。（表2、図2）

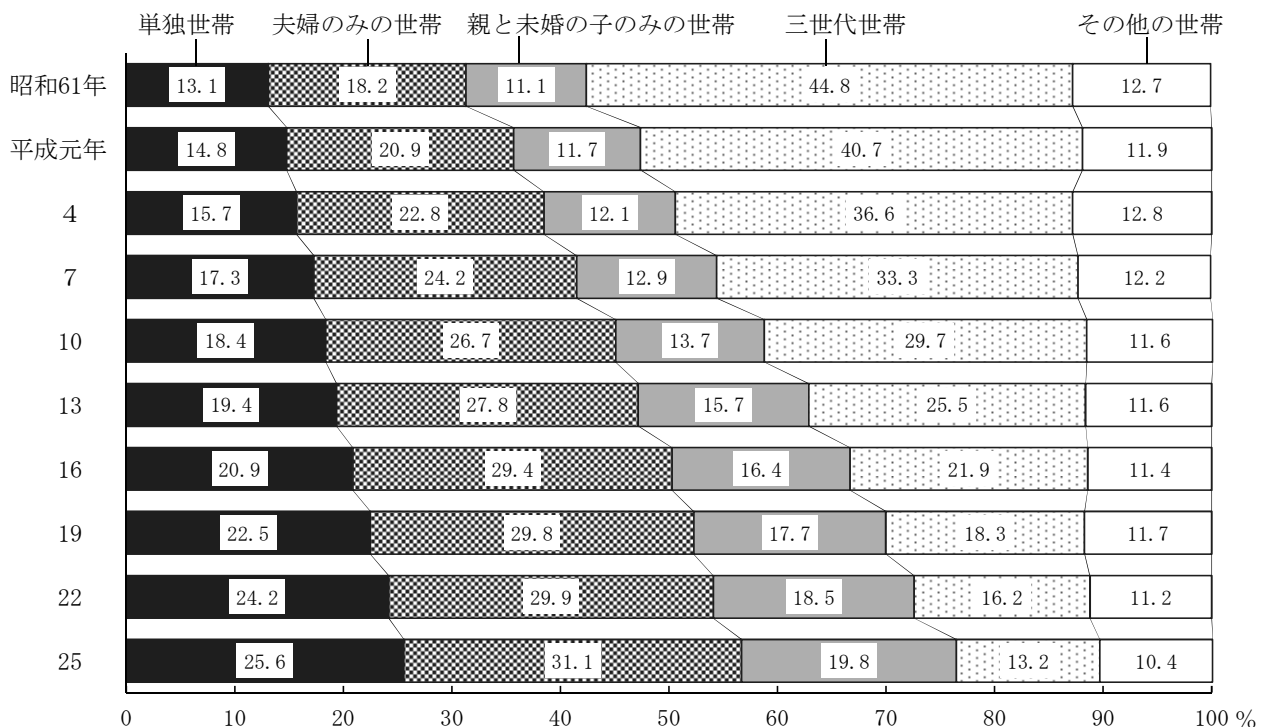
表2 世帯構造別にみた65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合の年次推移

年次	65歳以上の者のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	推 計 数 (単位：千世帯)						(再掲) 65歳以上の者のみの世帯
			単独世帯	夫婦のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯		
昭和61年	9 769	(26.0)	1 281	1 782	1 086	4 375	1 245	2 339	
平成元年	10 774	(27.3)	1 592	2 257	1 260	4 385	1 280	3 035	
4	11 884	(28.8)	1 865	2 706	1 439	4 348	1 527	3 666	
7	12 695	(31.1)	2 199	3 075	1 636	4 232	1 553	4 370	
10	14 822	(33.3)	2 724	3 956	2 025	4 401	1 715	5 597	
13	16 367	(35.8)	3 179	4 545	2 563	4 179	1 902	6 636	
16	17 864	(38.6)	3 730	5 252	2 931	3 919	2 031	7 855	
19	19 263	(40.1)	4 326	5 732	3 418	3 528	2 260	8 986	
22	20 705	(42.6)	5 018	6 190	3 836	3 348	2 313	10 188	
25	22 420	(44.7)	5 730	6 974	4 442	2 953	2 321	11 594	
			構 成 割 合 (単位：%)						
昭和61年	100.0	・	13.1	18.2	11.1	44.8	12.7	23.9	
平成元年	100.0	・	14.8	20.9	11.7	40.7	11.9	28.2	
4	100.0	・	15.7	22.8	12.1	36.6	12.8	30.8	
7	100.0	・	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2	34.4	
10	100.0	・	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6	37.8	
13	100.0	・	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6	40.5	
16	100.0	・	20.9	29.4	16.4	21.9	11.4	44.0	
19	100.0	・	22.5	29.8	17.7	18.3	11.7	46.6	
22	100.0	・	24.2	29.9	18.5	16.2	11.2	49.2	
25	100.0	・	25.6	31.1	19.8	13.2	10.4	51.7	

注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

図2 世帯構造別にみた65歳以上の者のいる世帯数の構成割合の年次推移



注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

65歳以上の者のいる世帯のうち、高齢者世帯を世帯構造別にみると、「単独世帯」が573万世帯（高齢者世帯の49.3%）、「夫婦のみの世帯」が551万3千世帯（同47.5%）となっている（表3、図3）。

「単独世帯」を性・年齢階級別にみると、男は「65～69歳」が31.5%、女は「75～79歳」が23.7%で最も多くなっている（図4）。

表3 世帯構造別にみた高齢者世帯数及び構成割合の年次推移

年次	高齢者世帯	単独世帯	男の単独世帯	女の単独世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯
推 計 数 (単位：千世帯)						
昭和61年	2 362	1 281	246	1 035	1 001	80
平成元年	3 057	1 592	307	1 285	1 377	88
4	3 688	1 865	348	1 517	1 704	119
7	4 390	2 199	449	1 751	2 050	141
10	5 614	2 724	555	2 169	2 712	178
13	6 654	3 179	728	2 451	3 257	218
16	7 874	3 730	906	2 824	3 899	245
19	9 009	4 326	1 174	3 153	4 390	292
22	10 207	5 018	1 420	3 598	4 876	313
25	11 614	5 730	1 659	4 071	5 513	371
構 成 割 合 (単位：%)						
昭和61年	100.0	54.2	10.4	43.8	42.4	3.4
平成元年	100.0	52.1	10.0	42.0	45.0	2.9
4	100.0	50.6	9.4	41.1	46.2	3.2
7	100.0	50.1	10.2	39.9	46.7	3.2
10	100.0	48.5	9.9	38.6	48.3	3.2
13	100.0	47.8	10.9	36.8	49.0	3.3
16	100.0	47.4	11.5	35.9	49.5	3.1
19	100.0	48.0	13.0	35.0	48.7	3.2
22	100.0	49.2	13.9	35.3	47.8	3.1
25	100.0	49.3	14.3	35.1	47.5	3.2

注：1)平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2)「その他の世帯」には、親と未婚の子のみの世帯及び三世帯世帯を含む。

図3 世帯構造別にみた高齢者世帯数の構成割合

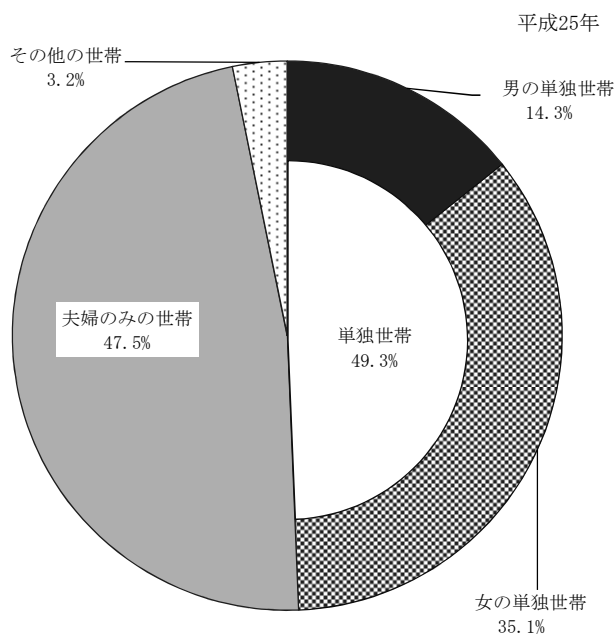
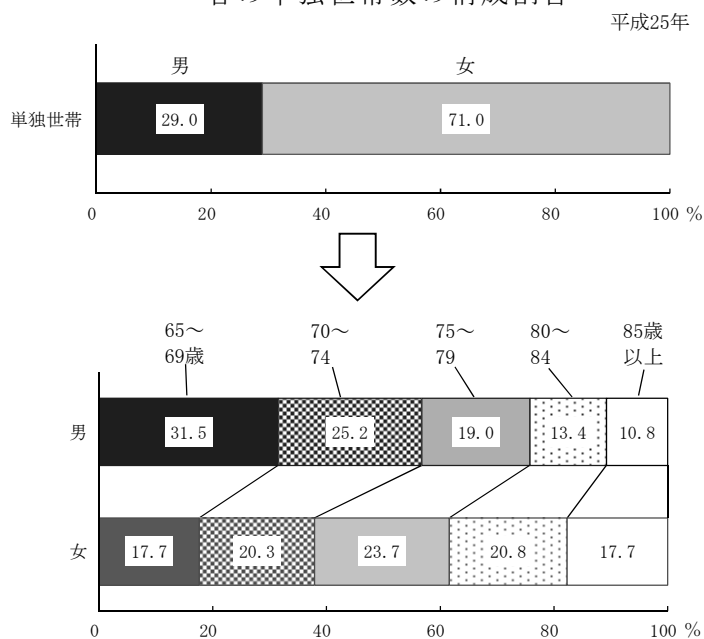


図4 性・年齢階級別にみた65歳以上の者の単独世帯数の構成割合



3 65歳以上の者の状況

65歳以上の者は3239万4千人となっている。

家族形態別にみると、「子と同居」の者が1295万人（65歳以上の者の40.0%）で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」（夫婦の両方または一方が65歳以上）の者が1248万7千人（同38.5%）、「単独世帯」の者が573万人（同17.7%）となっている。

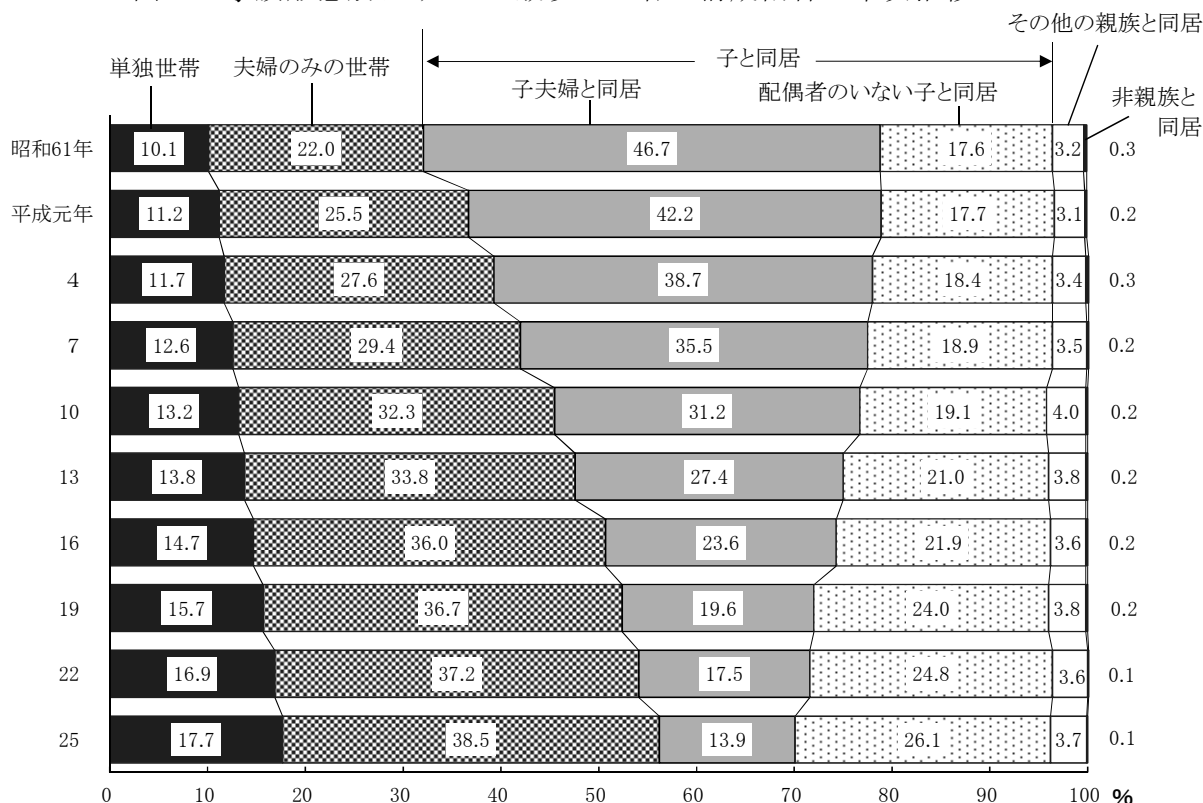
（表4、図5）

表4 家族形態別にみた65歳以上の者の数及び構成割合の年次推移

年次	65歳以上の者	単独世帯	夫婦のみの世帯	子と同居	子夫婦と同居		配偶者のいない子と同居	その他の親族と同居	非親族と同居
					子夫婦と同居	配偶者のいない子と同居			
推 計 数 (単位：千人)									
昭和61年	12 626	1 281	2 784	8 116	5 897	2 219	409	37	
平成元年	14 239	1 592	3 634	8 539	6 016	2 524	445	29	
4	15 986	1 865	4 410	9 122	6 188	2 934	549	41	
7	17 449	2 199	5 125	9 483	6 192	3 291	611	31	
10	20 620	2 724	6 669	10 374	6 443	3 931	816	36	
13	23 073	3 179	7 802	11 173	6 332	4 841	878	41	
16	25 424	3 730	9 151	11 571	5 995	5 576	916	55	
19	27 584	4 326	10 122	12 034	5 406	6 629	1 056	45	
22	29 768	5 018	11 065	12 577	5 203	7 374	1 081	27	
25	32 394	5 730	12 487	12 950	4 498	8 452	1 193	33	
構 成 割 合 (単位：%)									
昭和61年	100.0	10.1	22.0	64.3	46.7	17.6	3.2	0.3	
平成元年	100.0	11.2	25.5	60.0	42.2	17.7	3.1	0.2	
4	100.0	11.7	27.6	57.1	38.7	18.4	3.4	0.3	
7	100.0	12.6	29.4	54.3	35.5	18.9	3.5	0.2	
10	100.0	13.2	32.3	50.3	31.2	19.1	4.0	0.2	
13	100.0	13.8	33.8	48.4	27.4	21.0	3.8	0.2	
16	100.0	14.7	36.0	45.5	23.6	21.9	3.6	0.2	
19	100.0	15.7	36.7	43.6	19.6	24.0	3.8	0.2	
22	100.0	16.9	37.2	42.2	17.5	24.8	3.6	0.1	
25	100.0	17.7	38.5	40.0	13.9	26.1	3.7	0.1	

注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

図5 家族形態別にみた65歳以上の者の構成割合の年次推移



注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

4 児童のいる世帯の状況

児童のいる世帯は1208万5千世帯（全世帯の24.1%）となっている。

世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が870万7千世帯（児童のいる世帯の72.0%）で最も多く、次いで「三世帯世帯」が196万5千世帯（同16.3%）となっている。（表5）

児童数別にみると、児童が「1人」いる世帯は全世帯の10.9%、「2人」いる世帯は10.1%となっている（図6）。

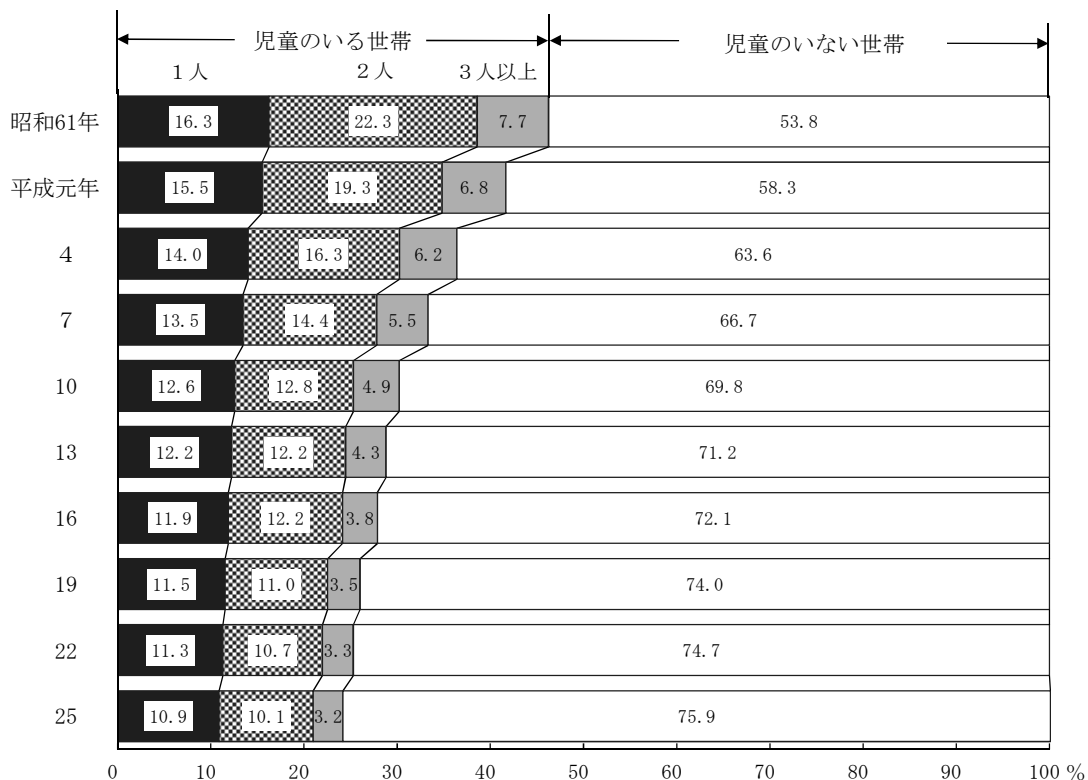
表5 世帯構造別にみた児童のいる世帯数、構成割合及び平均児童数の年次推移

年次	児童のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	核家族世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	児童のいる世帯の平均児童数
	推計数（単位：千世帯）							
昭和61年	17 364	(46.2)	12 080	11 359	722	4 688	596	1.83
平成元年	16 426	(41.7)	11 419	10 742	677	4 415	592	1.81
4	15 009	(36.4)	10 371	9 800	571	4 087	551	1.80
7	13 586	(33.3)	9 419	8 840	580	3 658	509	1.78
10	13 453	(30.2)	9 420	8 820	600	3 548	485	1.77
13	13 156	(28.8)	9 368	8 701	667	3 255	534	1.75
16	12 916	(27.9)	9 589	8 851	738	2 902	425	1.73
19	12 499	(26.0)	9 489	8 645	844	2 498	511	1.71
22	12 324	(25.3)	9 483	8 669	813	2 320	521	1.70
25	12 085	(24.1)	9 618	8 707	912	1 965	503	1.70
	構成割合（単位：%）							
昭和61年	100.0	・	69.6	65.4	4.2	27.0	3.4	・
平成元年	100.0	・	69.5	65.4	4.1	26.9	3.6	・
4	100.0	・	69.1	65.3	3.8	27.2	3.7	・
7	100.0	・	69.3	65.1	4.3	26.9	3.7	・
10	100.0	・	70.0	65.6	4.5	26.4	3.6	・
13	100.0	・	71.2	66.1	5.1	24.7	4.1	・
16	100.0	・	74.2	68.5	5.7	22.5	3.3	・
19	100.0	・	75.9	69.2	6.8	20.0	4.1	・
22	100.0	・	76.9	70.3	6.6	18.8	4.2	・
25	100.0	・	79.6	72.0	7.5	16.3	4.2	・

注：1)平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2)「その他の世帯」には、単独世帯を含む。

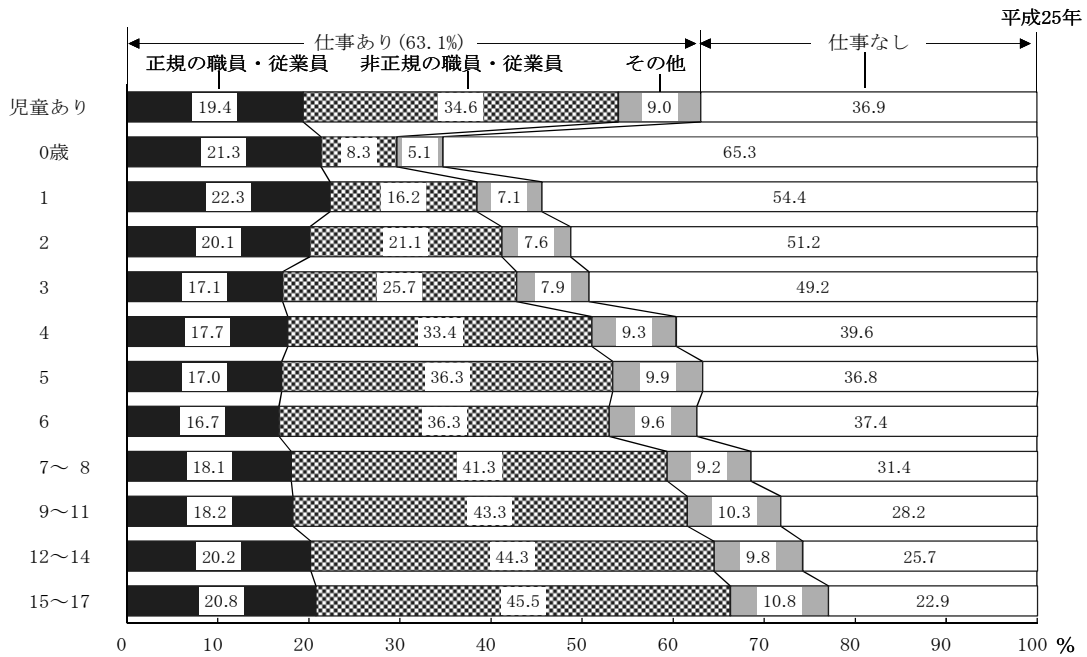
図6 児童の有無（児童数）別にみた世帯数の構成割合の年次推移



注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

児童のいる世帯における母の仕事の有無をみると、「仕事あり」は63.1%となっている。末子の年齢階級別にみると、末子の年齢が高くなるにしたがって「非正規の職員・従業員」の母の割合が高くなる傾向にある。（図7）

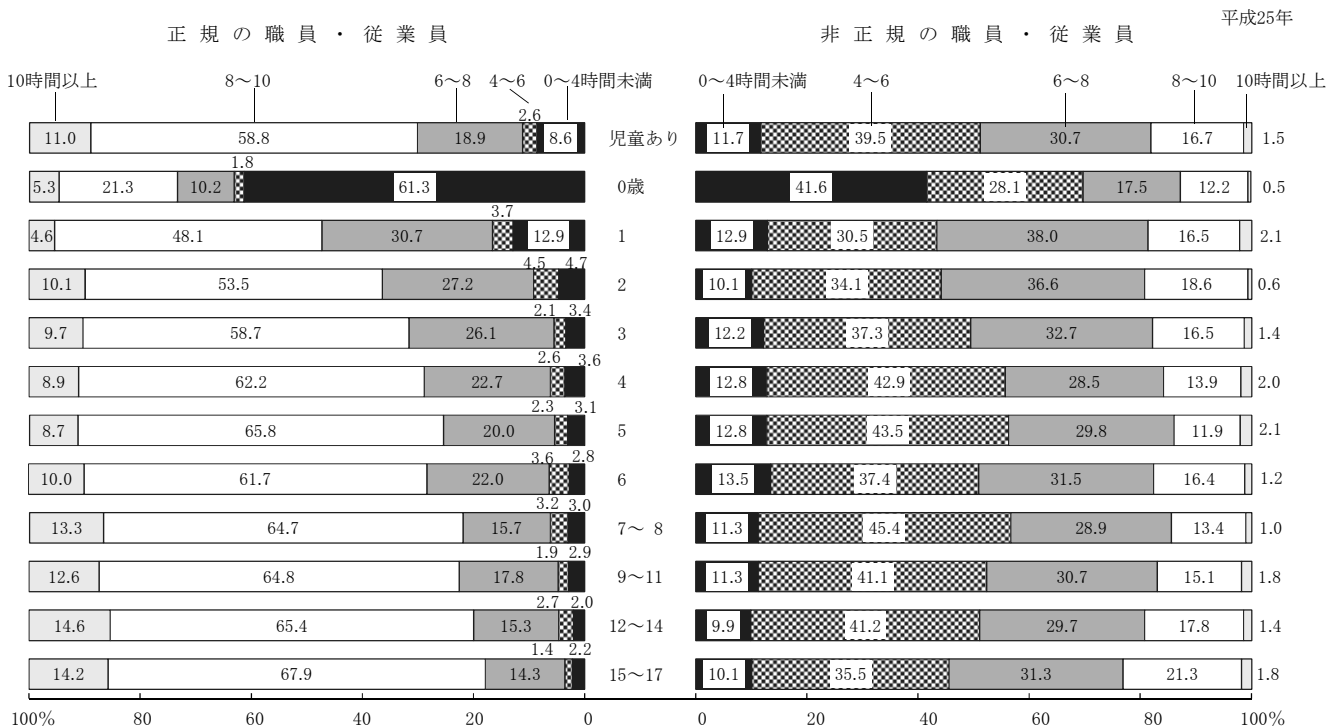
図7 末子の年齢階級別にみた母の仕事の状況の構成割合



注：1) 「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。
2) 「仕事の有無不詳」を含まない。

仕事ありの母の1日平均就業時間を末子の年齢階級別にみると、正規の職員・従業員は、「0歳」では「0～4時間未満」の割合が61.3%で最も高くなっている。それ以外の年齢では「8～10時間未満」の割合が高くなっており、「15～17歳」では67.9%となっている。非正規の職員・従業員は、「0歳」以外の年齢で「4～6時間未満」と「6～8時間未満」が約7割を占めている。（図8）

図8 末子の年齢階級別にみた仕事ありの母の1日平均就業時間階級の構成割合

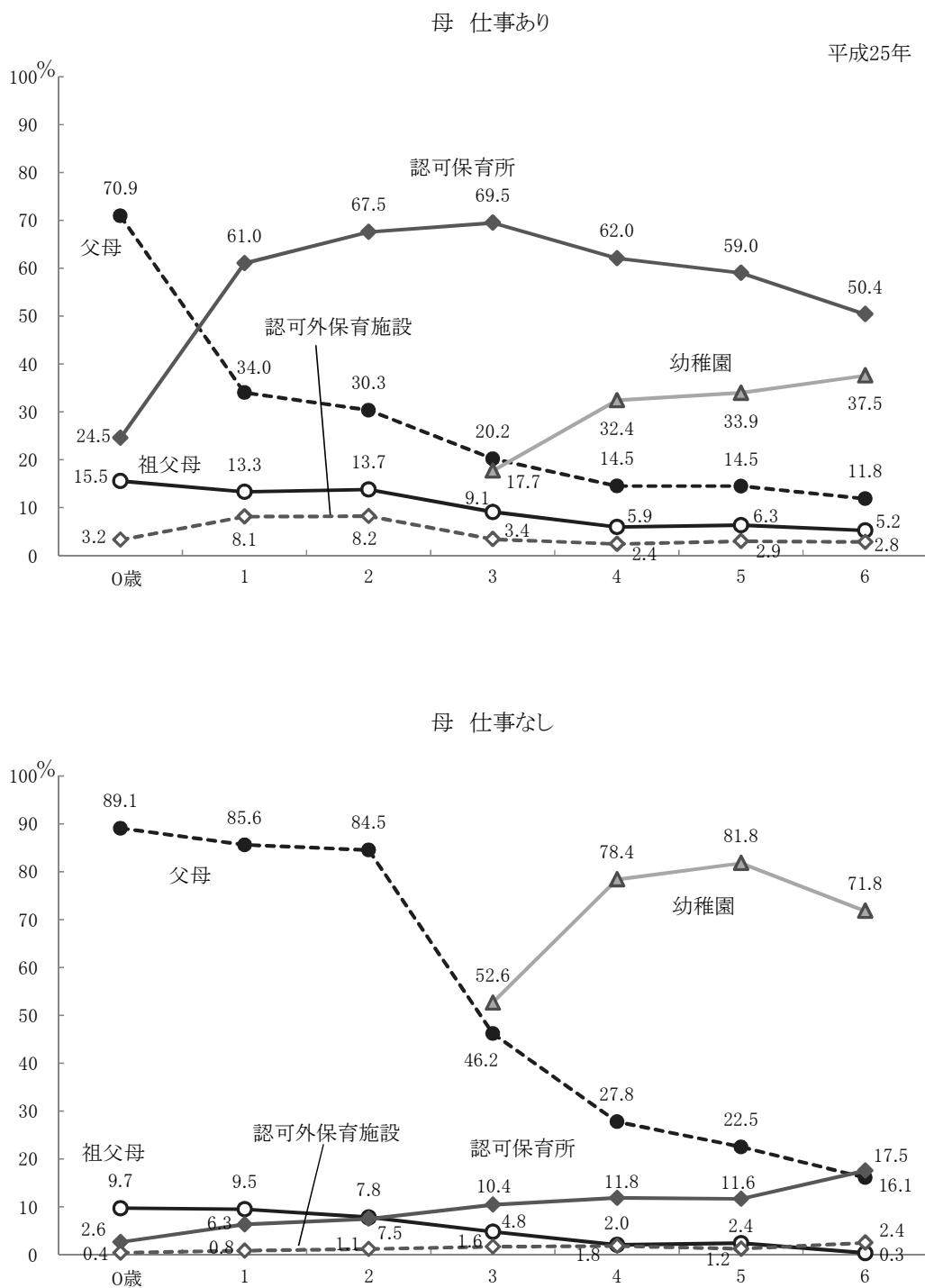


注：1) 1日の平均就業時間は、5月20～26日の間の就業時間を就業日数で除したものである。
2) 「平均就業時間不詳」を含まない。
3) 会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含まない。

末子の乳幼児について、日中における保育の状況を末子の年齢別にみると、仕事ありの母は、「0歳」では「父母」の割合が70.9%で最も高くなっており、「1歳」から「6歳」では「認可保育所」の割合が5割を超えている。また、「3歳」から「6歳」は年齢が高くなるにしたがって「幼稚園」の割合が増えている。

仕事なしの母は、「0歳」から「2歳」では「父母」の割合が最も高く、8割を超えている。また、「3歳」から「6歳」は「幼稚園」の割合が高くなっている。（図9）

図9 母の仕事の有無・末子の乳幼児の年齢別にみた日中の保育の状況の構成割合（複数回答）



5 15歳以上の者の就業の状況

男の15歳以上の者の仕事の有無を年齢階級別にみると、「25～29歳」から「55～59歳」までの「仕事あり」の割合が、ほぼ9割を超える台形型となっている。

仕事ありの者のうち、「正規の職員・従業員」の割合は41.1%、「非正規の職員・従業員」の割合は11.0%となっている。年齢階級別にみると、「25～29歳」から「50～54歳」までの「正規の職員・従業員」の割合が6割を超えている。（表6、図10）

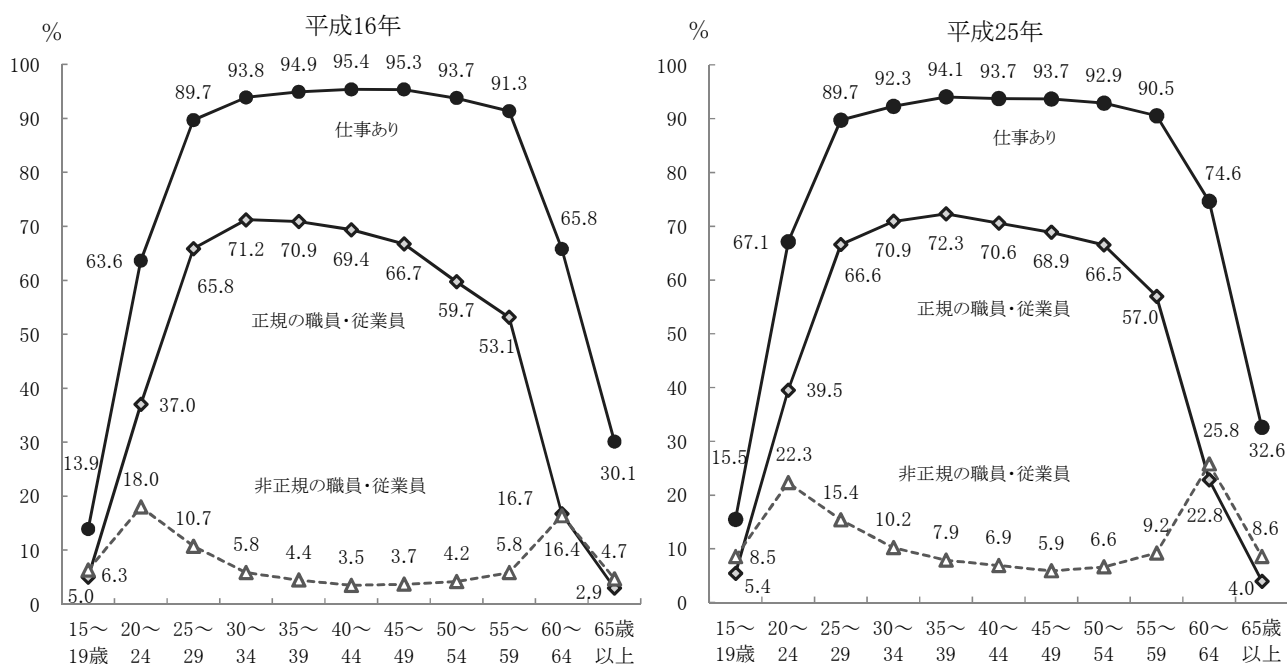
表6 年齢階級別にみた15歳以上の男の仕事の状況の構成割合

（単位：％）

年齢階級	平成16年						平成25年					
	総数	仕事あり	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	その他	仕事なし	総数	仕事あり	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	その他	仕事なし
総数	100.0	70.3	41.8	7.0	21.5	29.7	100.0	68.8	41.1	11.0	16.8	31.2
15～19歳	100.0	13.9	5.0	6.3	2.6	86.1	100.0	15.5	5.4	8.5	1.5	84.5
20～24	100.0	63.6	37.0	18.0	8.6	36.4	100.0	67.1	39.5	22.3	5.3	32.9
25～29	100.0	89.7	65.8	10.7	13.1	10.3	100.0	89.7	66.6	15.4	7.7	10.3
30～34	100.0	93.8	71.2	5.8	16.8	6.2	100.0	92.3	70.9	10.2	11.2	7.7
35～39	100.0	94.9	70.9	4.4	19.6	5.1	100.0	94.1	72.3	7.9	13.9	5.9
40～44	100.0	95.4	69.4	3.5	22.5	4.6	100.0	93.7	70.6	6.9	16.3	6.3
45～49	100.0	95.3	66.7	3.7	24.9	4.7	100.0	93.7	68.9	5.9	18.9	6.3
50～54	100.0	93.7	59.7	4.2	29.8	6.3	100.0	92.9	66.5	6.6	19.8	7.1
55～59	100.0	91.3	53.1	5.8	32.4	8.7	100.0	90.5	57.0	9.2	24.3	9.5
60～64	100.0	65.8	16.7	16.4	32.7	34.2	100.0	74.6	22.8	25.8	26.0	25.4
65歳以上	100.0	30.1	2.9	4.7	22.5	69.9	100.0	32.6	4.0	8.6	20.0	67.4

注：1) 「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。
2) 「仕事の有無不詳」を含まない。

図10 年齢階級別にみた15歳以上の男の仕事ありの構成割合



注：「仕事の有無不詳」を含まない。

女の15歳以上の者の仕事の有無を年齢階級別にみると、「仕事あり」の割合は「30～34歳」を谷とするM字型となっている。

仕事ありの者のうち、「正規の職員・従業員」の割合は16.3%、「非正規の職員・従業員」の割合は22.2%となっている。年齢階級別にみると、「20～24歳」から「30～34歳」までは、「正規の職員・従業員」の割合が3割を超え「非正規の職員・従業員」を上回っているが、それ以外の年齢階級では、「非正規の職員・従業員」の割合が「正規の職員・従業員」を上回っている。（表7、図11）

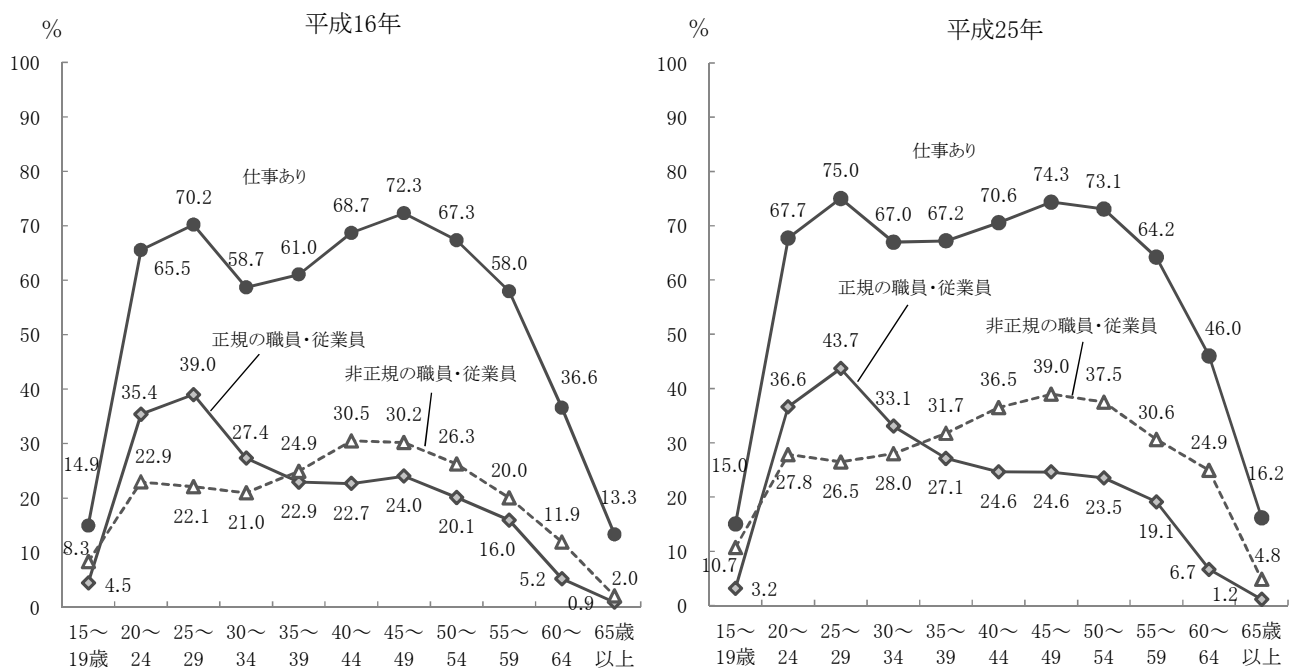
表7 年齢階級別にみた15歳以上の女の仕事の状況の構成割合

(単位：%)

年齢階級	平成16年						平成25年					
	総数	仕事あり	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	その他	仕事なし	総数	仕事あり	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	その他	仕事なし
総数	100.0	46.3	16.1	16.8	13.4	53.7	100.0	48.0	16.3	22.2	9.5	52.0
15～19歳	100.0	14.9	4.5	8.3	2.1	85.1	100.0	15.0	3.2	10.7	1.2	85.0
20～24	100.0	65.5	35.4	22.9	7.2	34.5	100.0	67.7	36.6	27.8	3.2	32.3
25～29	100.0	70.2	39.0	22.1	9.1	29.8	100.0	75.0	43.7	26.5	4.9	25.0
30～34	100.0	58.7	27.4	21.0	10.4	41.3	100.0	67.0	33.1	28.0	5.9	33.0
35～39	100.0	61.0	22.9	24.9	13.2	39.0	100.0	67.2	27.1	31.7	8.4	32.8
40～44	100.0	68.7	22.7	30.5	15.5	31.3	100.0	70.6	24.6	36.5	9.4	29.4
45～49	100.0	72.3	24.0	30.2	18.1	27.7	100.0	74.3	24.6	39.0	10.8	25.7
50～54	100.0	67.3	20.1	26.3	21.0	32.7	100.0	73.1	23.5	37.5	12.1	26.9
55～59	100.0	58.0	16.0	20.0	22.0	42.0	100.0	64.2	19.1	30.6	14.5	35.8
60～64	100.0	36.6	5.2	11.9	19.4	63.4	100.0	46.0	6.7	24.9	14.4	54.0
65歳以上	100.0	13.3	0.9	2.0	10.4	86.7	100.0	16.2	1.2	4.8	10.2	83.8

注：1) 「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。
2) 「仕事の有無不詳」を含まない。

図11 年齢階級別にみた15歳以上の女の仕事ありの構成割合



注：「仕事の有無不詳」を含まない。